

令和5年度 南伊豆町立南伊豆中学校 グランドデザイン

<南伊豆町>

【人づくりは町づくり】
「我が町南伊豆の歴史、文化、風土を愛し、慈しみを持って生きようとする心豊かな人を育てる」

「ふるさとの内外に学びの場を求め、やがてはふるさとで力を發揮できる人材を育成する」

「学校再編を少子化の象徴と捉えるのではなく、新たな町づくりの礎とすべく発想を転換する」

有徳の人

- ・自らの資質・能力を伸長し、個人として自立した人
- ・多様な生き方や価値観を認め、人との関わりを大切にする人
- ・社会の一員として、よりよい社会づくりに参画し、行動する人

学校教育目標

誰もが安心して 自分の力を 最大限に發揮できる学校

<静岡県>

- ・「文・武・芸」三道の鼎立を目指す教育の実現
「知性を高める学習」の充実
「技芸を磨く実学」の奨励
学びを支える魅力ある学校
- ・未来を切り拓く多様な人材を育む教育の実現
グローバル人材の育成
イノベーションを牽引する人材育成
- ・社会総がかりで取り組む教育の実現
地域ぐるみの教育の推進
誰もが夢と希望を持ち社会の担い手となる教育
「命を守る教育」の推進

学校経営目標Ⅰ

基礎学力を身につけ、主体的・対話的に 関わり合いながら高めあう生徒の育成

(1)授業改善の推進

- ・学びの実感・楽しさを感じられる授業
- ・主体的・対話的で深い学びのある授業の実現
- ・学ぶ雰囲気作り(学習規律の定着)
- ・ICTの活用による「個別最適な学習」の実践

(2)基礎学力の向上

- ・宿題の丁寧な見取りと自学の推進
- ・小テストやコンテストの活用
- ・学習支援、学習相談の推進(個に応じた学習)

(3)ネイティブALTの活用

- ・積極的なコミュニケーション活動の推進

(4)町ICTアドバイザーとの協働

- ・ICT環境を整え、ICTをより日常に、より便利なものとして活用

(5)検定等の推進

- ・漢字検定や英語検定などへの挑戦を推進

学校経営目標Ⅱ

自らの判断で行動し、

認め励ましあえる生徒の育成

(1)生徒会活動の充実

- ・四本柱(掃除、合唱、行事、挨拶)を充実させ、発展できるようにビジョンを共有
- ・自分たちでやり遂げる満足感とお互いに切磋琢磨できる環境の熟成
- ・地域貢献活動を推進し、町の役に立っているという自己有用感

(2)学級集団の熟成

- ・所属感を持ち、互いの良さを認めあえる集団
- ・係、担当を通して、責任感・所属意識の育成

(3)自律を意識させる支援

- ・規範意識を大切にし、自分の行動をコントロールできる判断力の育成(TPOを意識した行動)
- ・やり抜く力やレジエンスの育成
- ・全教職員と生徒が「いじめはぜったい許さない」という意識を共有

自分から 自分で めいっぱい

学校経営目標Ⅲ

心身ともに健康で、最後まであきらめずに チャレンジしようとする生徒の育成

(1)部活動の充実

- ・挑戦する心・我慢する心を育むとともに、同じ目的に向かい協力し合う人間関係の育成
- ・日課を工夫し、部活動時間の確保・充実
- ・学校再編を視野に地域部活動の研究・実践

(2)積極的な外部機関との連携

- ・外部団体との連携協力
- ・福祉や病院等との情報交換

(3)保護者とのより良い連携

- ・たより等を通して、「認め・褒める」表れの発信
- ・些細な表れでも、保護者と共有する中で解決

(4)不登校への対応

- ・SC、SSW、教育相談員等の活用
- ・ケース会議を開催し、職員みんなで対応
- ・声を掛け合って初期対応

(5)キャリア教育の推進

- ・こ小中高の連携
- ・ジオ学習や職場体験の充実

目指す教師像

- ・学習の「楽しさ」「できる喜び」を教え、「わかる授業」「できる授業」を目指す教師
- ・「一人も取り残さない」個別最適な学習を探れる教師
- ・生徒の「主体性」を育むために「仕掛け・出場所・塩梅」を調整できる教師
- ・生徒とビジョンシェアリングを丁寧にしながら、生徒に「達成感」を持たせられる教師
- ・生徒と共に活動し、挨拶や言葉遣い、行動など自らの姿で教えられる教師
- ・保護者・地域との関わりを大切にし、学校の様子を積極的に発信すると共に、生徒・保護者・地域の声にしっかりと耳を傾けられる教師
- ・生徒のために新しいチャレンジができる教師
- ・職員間の「のりしろ」を厚くしながら、「声を出し合える」関係を築くとともに、気がついて動ける教師
- ・自分の良心に従う自己制御能力を高め、生徒の人権や自分の家族を大切にする教師